

# 常なる磐

つねなる いわ season II

令和3年4月30日(金)

## ◇ 岡崎市の力 市民の力

昨日29日(木・祝)は、「昭和の日」でお休み。明日からはGW、6連休である。とはいうものの、東京都をはじめ数府県には緊急事態宣言が発出され、名古屋市などでコロナ変異型が右肩上がりて広がりつつあることを鑑みると、行動の自粛は否めない。

不安が募る中ではあるが、自信をもっていいことがある。我々には、対策を積み重ねてきた経験がある。その効果も、身をもって理解している。子供たちも同じだ。地味ではあるが、これまでやってきたことを、引き続きやり続けることが一番効果的であり、安心できるのである。

連休にあっても、各家庭において、引き続き感染予防対策をお願いしたい。

さて、こうした中にあっても岡崎市のコロナ感染者数は、ずっと10名以下が続いている。クラスターもあるにはあったが単発で、連鎖発生を防いでいる。これは、保健所をはじめとする衛生指導のおかげでもあるが、岡崎市民の民度の高さを表す証ではないかと考える。何せ38万人以上の民が住まう中核都市である。

しかし、慢心は禁物だ。崩れるときはあっという間に崩れるのが世の常である。情報によれば、ワクチン接種が完了するのは夏休みをはさんで9月。まだまだ、ずっと先である。

さらに若年層は感染しなかったコロナ原型に対し、変異型はお構いなしだそう。そうなってくると、このGW、そして夏休みが大きなヤマとなるのだ。

「岡崎市には、コロナ専門の愛知病院があるから大丈夫…」などと思っただけではない。愛知県が岡崎市に経営を託した愛知病院を、コロナ禍にあって県が買い戻したただけである。よって患者は県内各地から受け入れる。岡崎市にあるから、岡崎市民を優先するわけではないのである。

2年前まで、GW前に気になった病は、「5月病」、そして「連休ボケ」。しかし、今は「コロナ」、本物の病だ。子供たちの安全のためにも、何とかもちこたえてほしいと願うばかりである。

今こそ、岡崎市民の民度が試される。